

# 月刊 ポケット

# あわじ

発行日 2008年4月1日



## 島の瓦旅

優しいお顔の兄弟鬼師さん

(鬼師 = (おにし) 鬼瓦を作る職人さんの尊称)

法人名 = 池田白地 南あわじ市松帆西路1156 1

池田透(弟=とおる)さんと公(兄=ただし)さん

西淡・三原ICから車で約5分の山の中腹に池田さんの工房がありました。山に住む「鬼師」って、鬼みたいに気難しい職人さんかとか…。ところがどっこい、その工房の鬼師さん達は、スリムなえべっさんと大黒さん。満面の笑みで取材の私達を迎えてくれたのでした。鬼瓦はすべて手作り。1枚の平べったい粘土の板が鬼師の技によって鬼瓦になったり、縁起物の瓦になっていくのです。精巧に描かれた手書きの図面、図面通りに仕上げるため、何度も作品をチェックする定規。細かいラインを造るための手作りのヘラ。丸い飾りを抜く型や粘土をカットする道具。池田さん兄弟は、道具を作りながら作品を仕上げていくのだと言われます。機械化されたところがないこの工房の中には温かくゆったりとした時間が流れていました。製作中の鬼

瓦を見せてもらいました。美しい曲線と計算されつくした凹凸。すべて職人の勘で仕上げていくそうです。どの角度から見ても美しい。これぞまさに「日本の匠の技!」と、感動しきり。鬼師歴30年の弟の透さんは、窯業に勤めていた父親の影響で鬼師になろうと決意。高校卒業後、姫路で修行を積まれたそうです。おっとりとしてねばり強い性格がこの仕事に合っていたと言います。ちなみに美術は好きではなかったそうです。鬼師歴23年のお兄さんは、弟さんを手伝うために鬼師に転身。「作品が出来上がったときの喜びや達成感がやりがいです。」と二人は声を揃えた。手作りの鬼瓦は作る人の個性が出るそうです。池田氏の作品をじっと眺めていると、恐い形相の鬼の顔の奥から、きつと優しい笑顔が見えてくるはずですよ。

取材: 川原雅代・坂本厚子・水田未央子

応援隊取材記事 島の瓦旅

P. 1 優しい顔の兄弟鬼師さん

P. 2 塀の上で発見! 魔よけや縁起物

瓦の遊歩道・自然を活かした生かしたカワラの造形

P. 3 石屋神社の屋根にえびす瓦・瓦のオブジェ

もくじ

P.4 生活創造活動グループ「島の思ひ出残し隊」

ぼけっとクッキング 土筆(つくし)のおひたし

P.5 春祭り紹介 東桃川里祭・沼島春祭り・淡路だんじり祭

P.6 淡路文化会館・淡路生活科学センターからのお知らせ

P.7~8 淡路のイベント情報・展示情報

# 塀の上で発見! 魔よけや縁起物



写真:安居、浜田、坂本(厚)



## 瓦の遊歩道

淡路市北淡インター付近

いろいろな瓦で川の波を表現し、三角型に積み上げた「のし瓦(熨斗瓦)」の模様は、淡路島のなだらかな山と丘陵をイメージしてデザインしたそうです。そして、車道近く両脇にある二つの顔は、歌舞伎の隅取りをイメージして、地面から空を見上げて乱舞する「阿」「吽(あ・うん = 写真)」を表しています。川のせせらぎ、海の香り等、自然を満喫しながら、瓦の上を歩いてみてはいかがでしょうか。取材:廣岡ひろ子

平成16年の台風23号の災害復旧工事で、河川改修をしたところに瓦の遊歩道が出来ました。場所は、北淡インターバス停留所下の育波川、細川新橋の横。山田修二氏の製作デザインで、近くを通る人、バスを待つ人々の目を楽しませてくれます。

## 自然を生かしたカワラの造形



里美さんの自宅への進入路である。早速、武田さんに取材。「これが出来て4年。当時、津井の原嘉四郎さんという方が壊れた瓦でいろいろなものを作っておられるのを見せていただき感動。なんとかこの場所にも作れないかとイメージをふくらませていた時、再び原さんとの出会いがあり、この場所に瓦を積んでもらえることになった。原さんは折を見てここに立ち寄り、コツコツと瓦を積んでくれた。廃瓦だが新品同様に、色合いもよくできた。こちらから、『檜の木を残してほしい』と希望を出したり、原さんから、『ここは、こうしたらどうか』という提案をいただいたりして、だんだん大掛かりになっていき、完成まで約半年かかったが、本当にいいものが出来た。」と、喜んでおられた。自然環境との出会い、人(製作者)との出会い、物(廃瓦)との出会いがあって出来上がったモニュメント。そのエピソードを聞くのはとても心地よかった。

取材:坂本和子、写真:浜田泰美

南あわじ市の「うずしおライン」を阿那賀に向かって進むと、伊加利の道路沿に横に長い瓦のモニュメントが目にとまる。自然の中にすっかりとけこんでいる造形美は人の心も惹きつける。それをたどると、一軒の家へと続く。これは里山基地でご活躍されている武田

# 石屋神社の屋根にえびす瓦



写真：立谷林也さん

淡路市岩屋の海水浴場を望む高台に、石屋と書いて、「いわや」と読む神社があり、淡路で最も古い神社と伝えられています。その屋根には、3体の龍と8つの鬼瓦、1対の鯨(しゃち)、そして、えべっさんの瓦が乗っています。特にめずらしいのは、えべっさん瓦。左のえべっさんは盃を持ち、右のえべっさんは釣り竿を手にしています。平成元年に改修されたときに、石屋神社が「浜芝居 岩屋浦祈禱 恵比須舞」で有名なことから、氏子さんにより奉納されたということです。取材：立谷貞代

石屋神社には、とてもおもしろい仕掛けが施されています。それを目の当たり人は、ビックリすることはもちろん、石屋神社のファンになってしまうこと、請合いです。仕掛けについては神主さんに聞いてくださいね。

# 島のあちこちに瓦のオブジェ



南あわじ市のシーパ(ショッピングセンター)には瓦屋根のポストがある。写真：水田未央子



西淡三原インター近くで謎の狸を発見！瓦の狸は前の道路を通り過ぎる車や子どもたちを見守り続け、ときには交通安全のたすきまで掛けて地域のアイドル的存在。その狸は亀井製瓦所の亀井均さん(80)が大鳴門橋開通のときに瓦業のPRにと工場前の道路沿いに設置したものだそうだ。「なんで狸？」の問いに息子の二郎さんは笑って「作りやすかったからやろ」と。その他にも縁起物や魔よけとして家の塀の上に置く「えべっさんやミニしゃちほこ」、観光地に「狸の七福神」なども作っている。

工場横の敷地には、均さんがこつこつ作った土俵に瓦のお相撲さんや見物客のオブジェが並び、ちょっとした観光地になっている。問合せ：0799 36 2365

取材：浜田泰美・岡八代井



## 足湯を楽しむ温泉客(狸)!!?

場所：洲本税務署前の足湯(潮騒の湯)  
由来：洲本の三熊山には芝居好きの狸「柴右衛門」とその仲間達の物語が「洲本八狸」として民話にあります。平成14年12月「柴右衛門」と柴右衛門の長男「柴助」が「光の街・すもと」を見よう足湯まわりに現れました。そして、その翌年平成15年12月には他の6ひきの狸たちも現れ、足湯のまわりはにぎやかになりました。『光の街・すもと八狸ウインターストーリー』より  
取材：栄 宏之



瓦を使ったガーデン(製作：淡路市生穂上田治子さん)淡路市志筑の国道沿いにある。写真：岩井幸子

## おおきなポッケ

### 瓦に関するチョットお得な情報!?

住宅の新築時などに、淡路瓦を屋根に使用すると市から奨励金の交付を受けられる制度があるのをご存知ですか？(淡路市及び南あわじ市)

地場産業である淡路瓦の振興と(かわら)街並み景観の形成を促進することを目的に、定められた制度です。市によって奨励金の交付金額や交付を受けるための条件が異なりますので、淡路瓦を使った新築住宅を購入された方やこれから住宅の新築をお考えの方は、お住まいの地域の商工観光課に問い合わせさせていただきます。

応援隊：栄宏之(一級建築士)



# 生活創造活動グループ

## 島の思ひ出 を残したい(隊)



代表：岩井 拓記  
家庭に眠る古いフィルムを  
募集中です！

0799 - 62 - 6023 (岩井まで)



働いていたテレビの制作会社での映像製作の経験を活かして、故郷のために何かできないかと思い、帰郷。そして始めたのが、故郷のこれまでの歩み(歴史)を捉え直すことだった。目をつけたのが、8ミリフィルムなどの古い映像資料。「そこには在りし日の淡路島の姿が記録されているはずだ」、そう思って発掘作業を始めたのがきっかけで、「島の思ひ出を残し隊」というグループを結成した。活動のなかで注目したのが、淡路島の風土や先人たちの思いが凝縮されてい

るであろう各地の祭りである。そして制作したのが、「淡路島だんじり狂想曲」。この作品を制作後、いろいろなところで上映会をして、大勢に淡路島の魅力を伝える活動に移行していった。洲本市中央公民館主催の女性学級で、上映後に座談会をして、参加者個人個人の経験を語り合い、在りし日の淡路島を振り返る作業には、かなりの手ごたえを感じた。今後もこうした世代間の交流を図ることで、淡路島人としての意識を共有していきたい。

## ぽけっとクッキング

応援隊：岩井幸子



### つくしのごまあえ

- 分量：つくし200g〜300g
- すりゴマ大さじ1杯
- みりん小さじ1杯
- 砂糖小さじ2杯
- 醤油小さじ2杯
- だし汁小さじ2杯



好みの味に調える。

つくしははかまを綺麗にとっておく。  
お鍋に湯を沸かし、沸騰してきたら に入れてさっとゆがく。ピンク色になるとゆだっている。  
ザルでお湯を切り、冷ましてから布巾で水気を絞る。  
3cm位に切りそろえる。  
ボールにすりゴマ、みりん、砂糖、醤油を入れて味を調える。



ゆでて切りそろえたつくし

### ふきのとうの天ぷら

ふきのとうは一番早く春を教えてくれる使者です。苦味が料理をする事により甘味と旨味に変わります。



汚れをそうじして  
水にいれる



ざるで水を切る。まな板で  
少し平らになる様に押し  
潰すと中まで火の通りが  
良くなります。

天ぷら粉は柔らかめに溶き、薄く付けた方が  
からっと揚がる。温度は170度〜180度位でゆっ  
くり揚げる。泡が小さくなって来たら出来上がり。

## 東桃川菜の花と鯉のぼりの里祭

4月の中旬(桜や菜の花、景観形成作物の開花に合わせて)に大きなこいのぼりが江井の村に出現します。「東桃川菜の花と鯉のぼりの里祭り」です。集落の取り組みとなっていた菜の花畑に「大きな鯉のぼりをあげてはどうか?」という村の人の一言で始まりました。鯉のぼりが眠っている家庭がないかと探して、集まった鯉のぼりは100匹以上!鯉を大きな太ワイヤーにつるし重機で引っ張り、菜の花畑の上に風に吹かれて気持ち良さそうに泳ぐ鯉のぼりがいっぱい。村の人たちだけではなく、口コミで広がって近隣からも見に来る人が絶えません。応援隊の私も子どもを連れて何度か見に行きました。親子で大喜びをしながら、鯉を追いかけて走り回りました。迫力満点の風景です。

「村おこしは人おこし」、皆で一致団結してこんな大きなお祭りイベントに発展した東桃川のお祭りに行ってみませんか

取材:橋本史江



## ぬしま 沼島春祭り

南あわじ市沼島の春祭りは、ゴールデンウィーク中(5月3日、4日)ということもあって、島の人口は倍以上にふくれあがる。神輿(みこし)と舟形の曳きだんじり3台と掻きだんじり2台が激しい太鼓のリズムとともに島を練り回る。島に住む人も久しぶりに島に帰省した人もいっしょになって島中が踊りまくって盛り上がった祭りの終盤、だんじりは競って浜から海へと滑り込む。

「沼島の太鼓とだんじりは激しいでえ」沼島出身の美人が誇らしげに語ってくれた。

取材:川原雅代

沼島太鼓は、ジャマイカ風? 南米っぽいリズム。沼島だんじりには、大太鼓と小太鼓がついていて、3人でたたく。

## 淡路だんじり祭

# 4月29日(祝日)

## 9:00~16:00 雨天中止

南あわじ市内各地から25台の檀尻が集合。勇壮な練りや檀尻唄を披露、獅子舞を演じます。また、開演を和太鼓が盛り上げます。バザーやフリーマーケットもあります。

## 三原健康広場

淡路だんじり祭写真コンクール作品募集

応募規格 サイズは四つ切(ワイドも可)1人何点でも応募可。賞あり(特選5万円相当の淡路ビーフ。その他各賞)

応募方法 総合窓口、公民館に備付の応募用紙と合わせて三原公民館へ提出。5月30日締め切り

展示会 6月中旬に全応募作品を三原公民館に展示

問合せ先 三原公民館 0799-43-5038

フリーマーケット出店者募集

30区画(2m×2m) 料金 1区画500円

家庭の不用品など(動植物、飲食物、薬等不可)

締め切り 4月14日(月)まで。先着順

申込先 南あわじ市生涯学習文化振興課

0799-37-3020 電話申込可

# 第19回淡路だんじり唄コンクール

～義理人情の世界を力強く競演～

日時	平成20年5月11日(日) 9:00 ~ 19:00 (予定)
場所	南あわじ市文化体育館「元気の森ホール」 〒656-0534 南あわじ市北阿万筒井1509-1
出演者	淡路島内各地区の祭礼団、だんじり唄愛好グループ等 約30団体
部門	祭り・保存・継承の部、愛好の部、少年・少女の部 特別出演(前年度「祭り・保存・継承の部」優勝団体)
問合せ先	淡路文化会館内 第19回淡路だんじり唄コンクール実行委員会事務局 〒656-1521 淡路市多賀600 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400

## 淡路ふるさと芸術文化振興事業

## 希望団体募集中

- |   |   |
|---|---|
| <p>1 対象:20年度に実施される淡路地域の特色ある芸術文化活動(舞台芸術、美術鑑賞、作品批評など)市域を超えた広域的事業であること</p> <p>2 補助額:20万円を限度とする(事業内容により額を決定)</p> <p>3 決定方法:淡路ふるさと芸術文化振興事業実行委員会にて選考の上、県への申請事業を決定</p> | <p>4 申請期間等<br/>申請期間:平成20年4月14日(月)まで<br/>申請方法については下記までお問い合わせください。</p> <p>問い合わせ:淡路文化会館内 淡路文化団体連絡協議会<br/>電話(0799)85-1391</p> |
|---|---|

# 淡路生活科学センターからのお知らせ

## 「くらしの出前講座」ご案内



悪質商法や実際の消費者トラブルについての学習会をしませんか? 開催場所に講師を派遣します。

- 【講座内容】契約の基礎知識、悪質商法にご注意  
ご希望のテーマがあれば、ご相談ください。
- 【主催】実施希望団体と当センターとします。
- 【講師】当センター職員
- 【経費】原則不要  
会場使用料は申込団体にご負担ください。
- 【申込方法】別紙申込書に記入のうえ、郵送又はFAXでお申し込みください。

講師料 無料

～あなたの地域の学習会に講師を派遣します～

問い合わせ・申込み先  
〒656-1521 淡路市多賀600  
淡路県民局 淡路生活科学センター  
TEL:0799-85-0999  
FAX:0799-85-0400

## 私たちが淡路地域のくらしのクリエイターです。



【主な活動内容】  
身近な消費生活相談  
悪質商法から住民を守る活動  
出前講座の講師など

### 洲本市

壽圓 久範  
松下 晃衣  
内谷 敏子  
木田 繁子  
栄 宏之  
蔦 やす子  
野口 純子  
栗山 文江

### 南あわじ市

永田 美津子  
平池 啓子  
中本 美和  
北条 志津子  
桐本 清代  
宮本 美登利  
江本 房加  
山下 富子

### 淡路市

西谷 洋子  
仲野 千春  
今津 さだ子  
西田 日出子  
畑 美代子  
今田 壽美  
河野 さか糸  
小田 美根子

【時】開催日等 【所】場所 【料】料金 【問】問い合わせ先

**「大鳴門橋うず潮ウォーク」参加者募集** 【募集期間】～4月17日(木)当日消印有効 応募者多数の場合抽選  
 【開催日】5月17日(土)・18日(日)【参加費】大人1,000円、中学生以下500円(傷害保険等)  
 【募集対象】小学4年生以上の方(小学生は保護者同伴)、自力で2km以上の歩行ができ、階段の昇降ができる方(管理路のため杖は使用できません)、高所恐怖症でない方【問】南あわじ市役所市長公室内 大鳴門橋うず潮ウォーク係 43-5002

**淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」** 【問】奇跡の星の植物館 74-1200 FAX 74-1201  
 【通常入館料】当日 大人 600円 65才以上300円 高校生360円 中学生300円 小学生180円  
**フランスフラワーショー - マリーアントワネットの庭 -**  
 ・フランスフラワーショーpart2 プチ・トリアノン 【時】4月12日(土)～5月11日(日) 【所】展示室5 フラワーショースペース  
 ・ベルサイユ宮殿の人々と花 【時】4月12日(土)～5月11日(日) 【所】展示室4 癒しの庭  
**夏のラン展 -The Luxury White Garden-**  
 ・ホワイトガーデンショー 【時】5月17日(土)～7月13日(日) 【所】展示室5 フラワーショースペース  
 ・夏のランコンテスト 【時】5月17日(土)～6月1日(日) 【所】バルコニー  
**アロマセラピー教室** 【時】毎週土曜 11:00～16:00 【料】参加費 900円～(商品により異なる)  
**淡路インフィオラータ2008** 【時】5月4日(日祝)9:00～ 【所】貝の浜 作成終了後に展示(～5月6日)  
 カーネーションの花びらを敷き詰め「マリーアントワネットの世界」を描くイベント。年齢制限なし。要予約

**国営明石海峡公園** 【問】明石海峡公園管理センター 72-2000 【開園時間】9:30～18:00(入園券発行は17:00まで)  
 【入園料】大人400円 小人(小・中学生)80円 駐車料金 普通車500円 大型バス1,600円 4月5日は入園料無料  
**チューリップ アイランド パーティー2008** 【時】4月5日(土)～20日(日) 【所】園内全体  
 ・ステージイベント:歌のお姉さん吉田仁美ちゃんファミリーコンサート 【時】4月19日(土)20日(日) 【所】移ろいの庭  
 ・ストリートパフォーマンス:サンキュー手塚 【時】4月12日(土)13日(日)ちゅーさん 【時】4月19日(土)20日(日)

**北淡震災記念公園** 【問】 82-3020  
**北淡震災記念公園オープン10周年記念イベント** 【時】5月5日(月祝)10:00～15:00 【料】無料  
 もちつき、もち撒き 海鮮汁ふるまい、特産品展示・販売等を行います。

**しづかホール** 62-2001  
**津名高等学校吹奏楽部ノギター・マンドリン部ジョイントコンサート** 【問】津名高等学校(田中) 62-0071  
 【時】5月4日(日・祝)13:00開演 【料】無料  
**映画「名探偵コナン 戦慄の楽譜」** 【問】しづかホール 【時】5月5日(月・祝) 10:00～12:30～15:00～  
 【料】前売:一般1,300円 小人800円 当日:一般1,800円 学生1,500円 小人・シニア1,000円  
**全国巡礼奉詠舞大会** 【問】金剛講淡路地方本部 本間 42-0287 【時】5月15日(木)9:00～ 【料】無料

**サンシャインホール** 74-0250  
**淡路市民文化のつどい 茂山千之丞狂言会** 【問】サンシャインホール 【時】5月25日(日)14:00開演  
 【料】前売:一般2,000円 学生以下・70歳以上・身障療育手帳保持者1,000円(当日は500円増) 3歳未満は無料  
 身障療育手帳保持者の付添人(1人)は前売1,000円(当日500円増)で入場可

**洲本市文化体育館**  
**映画上演会「わらびのこう」**(手話通訳・字幕付) 【所】文化ホール『しばえもん座』 【料】前売1,800円 当日2,000円  
 【時】4月20日(日) 市原悦子トークショーあり 上演10:00 トーク 12:10 トーク 14:00 上演 14:40  
 【問】淡路島のノーマライゼーションを実現する会(洲本市総合福祉館内) 26-0889  
**南條隆一座総出演 スーパー兄弟特別公演** 【所】文化ホール『しばえもん座』 【料】前売2,800円(全席指定)  
 【時】4月24日(木)昼の部12:30 夜の部17:00 【問】乙井音楽事務所 42-6195 (090-8938-6605)  
 I am... 26-2616  
**若林薫ピアノ教室発表会** 【所】文化ホール『しばえもん座』 【料】無料 【時】4月29日(火祝)14:00～  
 【問】若林薫ピアノ教室 42-1263  
**淡路美術協会公募展 第66回「ARTする淡路島展」** 【所】会議室1A・2C 【料】無料  
 【時】5月4日(日)～6日(火祝) 10:00～19:00(最終日～16:00) 【問】淡路美術協会(岸本) 42-4308

**淡路県民局**  
**平成20年度「走る県民教室」第二期分募集** 【募集期間】4月21日(月)～5月2日(金)  
 【対象】淡路島内の自治会・高齢者・女性・青少年等の地域団体等(参加者20人以上) ただし、補助は1年度につき1団体1回限りとします。【見学等実施日】6月1日(日)～9月30日(火)  
 【申込・問合せ】企画調整課 26-2012 申込書は兵庫県ホームページからダウンロードできます。  
**菜の花エコプロジェクトひょうごフォーラムin淡路** 【料】無料  
 【時・所】5月11日(日) 11:00～:ウェルネスパーク五色 13:00～:洲本市五色町文化ホール  
 【内容】菜の花エコプロジェクト(またはBDF精製事業)に取り組む県内各地の団体が参加し、地球温暖化防止に向けた提言を行います。他に4月にオープンするナタネ油搾油施設見学会を行うほか、菜の花エコプロジェクト体験ブースも出展。 【問】環境課 26-2072  
**第7回あわじオープンガーデン** 【時】4月26日(土)～27日(日)、5月10日(土)～11日(日) 【所】島内全域  
 【料】各ガーデナー宅へは無料で入れます。ただし、今年のマップは一部のコンビニ、ガーデナー宅などで有料販売しています。  
 【問】あわじオープンガーデン実行委員会事務局 担当:武田 090-7553-9492 FAX 39-1032

ギャラリーインフォメーション

<p><b>淡路文化会館</b> 85-1391【料】無料                  (展)...展示室 (ギ)...県民ギャラリー (資)...資料室                  戸塚刺しゅうミニ展(展) (4/ 5~4/17)                  鈴木智鶴子パステル画展(ギ) (4/ 5~4/17)                  あのころの日本家屋展(展) (4/19~5/ 6)                  県立淡路島公園&amp;淡路島公園を楽しもう会                  作品展(ギ) (4/19~5/ 6)                  ARTする淡路島・秀作展(展)(ギ) (5/ 8~5/22)                  山口昇「わら細工展」(ギ) (5/24~6/12)                  西尾光伸作品展「喜び」(展) (5/26~6/ 7)</p>	<p><b>洲本市民工房3Fギャラリー</b> 22-3322【料】無料                  第8回フォトクラブ21写真展                  「光彩」(4/25~4/29)                  (5/ 3~5/ 6)                  淡味篆会展2008                  (5/ 3~5/ 6)</p>
<p><b>洲本市民交流センター</b> 24-4450【料】無料                  アールギャラリー                  三美会日本画展 (4/ 8~ 4/29)                  アワジネイチャーフォトクラブ写真展 (5/ 1~ 5/31)</p>	<p><b>淡路人形浄瑠璃資料館</b> 43-5037                  「祖先のあしあと展」-小・中・高生の郷土学習教材に- (3/ 6~5/29)                  「新淡路写真貼-野水正朔写真展-」 (4/ 1~5/30)                  淡路人形浄瑠璃名場面「義経千本桜 道行初音旅」 (8月下旬まで)</p>
	<p><b>玉青館</b> 36-2314                  【料】大 300円、高・大 200円、小・中 100円                  良華ムラギシの世界 - 村岸良華展 - (4/12~6/22)</p>

生活創造しんぶん「ポケットあわじ」の取材や配布、生活創造に関する活動を続けてくれた生活創造応援隊の5名のメンバーが、平成20年3月に退任しました。



【退任の応援隊員から思い出の一言】

坂本和子(南あわじ市): 創刊から6年間、いちばん印象深かったのは田んぼいっぱいの花の「はばタン」の写真が掲載されたとき、反響が大きかったのは、「堂々と田舎」の伊加利の別処さんの記事。なんと島外からも注目されました。

西岡真理子(洲本市): 一番の思い出は淡路弁特集のとき、淡路弁の会話を英訳し、応援隊員同士が盛り上がり、その結果読者も増えたことです。しんぶんの取材や配達で普通では触合うことのない方々との出会いが最大の収穫でした。今後もアンテナをたたまず、人生を楽しみたいと思います。

立谷貞代(淡路市): 「あの記事、読んだよ。」と声をかけてもらえることがとてもうれしかったです。これからは、一読者にもどって、楽しみたいと思います。

岩井幸子(淡路市): 取材でいろいろなジャンルの方とお会いしましたが、若くて人となりの良い漁師さんの取材がとても印象的でした。思いやりの深い好青年でした。

安居ひら子(淡路市): 取材を通していつも新しい発見がありその土地の歴史や文化、自然の美しさを改めて知ることが出来ました。沢山の人との出会いは、私の心に宝ものとして残りました。

編集だより

今月号では、瓦のモニュメントやオブジェを探して、「島の瓦旅」をしました。南あわじ市西淡地域では、あちらこちらで鋭い眼光の鬼瓦に出会いました。悪運厄災をはらう魔よけとして古くから神社仏閣の屋根に取り付けられていた鬼瓦ですが、江戸時代に入っからは一般の屋敷にも使われるようになったそうです。火災保険も無い時代ですから恐ろしい災いから免れるようにとの思いを怖そうな鬼面に託したのかもしれませんがね。また、淡路のいぶし瓦は100パーセント土にかえる瓦で、現代においてはリサイクルできる希少な瓦として注目されているそうです。屋根だけでなく敷瓦や壁瓦、またガーデニング素材、そしてアートとしても大活躍の淡路瓦を応援しています。

生活創造活動コーディネーター いりいり

ポケットあわじでは、皆さまからのお便り、まちの情報をお待ちしています。お気軽にどうぞ！



(発行) 淡路生活創造応援隊  
 淡路県民局 淡路文化会館・淡路生活科学センター  
 〒656-1521 淡路市多賀600  
 TEL 0799-85-1391  
 FAX 0799-85-0400  
 E-mail : bunka-85awaji@maia.eonet.ne.jp

「ポケットあわじは」どこで手に入るの?・・・淡路島内各市の庁舎・公民館、ホール、商業施設などで無料配布しております。また、淡路文化会館のホームページ・下記URLでもご覧になれます。

<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>